

事業評価書

補助事業名	東村地域福祉支援運営事業					
補助事業者名	東村長					
実施場所	東村平良地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村は、乳幼児から高齢者まで健やかに地域で生活できるよう介護・保健・福祉・医療等の支援体制を構築している。本村は高齢化社会に伴い支援の改善・強化をしている状況である。</p> <p>生活習慣病の予防と村民の健康づくりのために運動サークルを実施し、地域住民へ健康に対する意識改善を促す取り組みを行ってきた。</p> <p>レク活動や野外活動等を行う『ふれあいサロン』の実施時間を平成26年度より5時間へ変更し、新たな取り組みとして個別運動指導や隣接する保育所の園児との交流も取り入れ、高齢者が生きがいを持ち、要介護状態となることを予防するとともに、住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができ、健康で生き生きとした老後生活を送れるよう支援を図っている。</p>					
補助事業の内容	保健師、社会福祉士、看護師の人件費					
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成32年度					
事業費及び交付金額		27年度	28年度			
		円	円	円	円	円
	基金 造成額	交付金	3,783,000	10,625,000		
		市町村費等	1,674,000	0		
		その他	0	0		
		計	5,457,000	10,625,000		
		基金処分別	0	14,381,500		
	基金残額	5,457,000	1,700,500			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【高齢者の生きがい作り及び要介護状態の予防についての成果及び評価】 事業期間中に、ふれあいサロンに参加した方、運動サークル並びに福祉相談に来られた方へアンケート調査を行った結果、「生活が充実している。」「今後も続けてほしい。」との回答が多く、介護・保健・福祉・医療等の支援を受けている方が満足する支援が出来ていることから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 1) 村広報誌2017年7月号に掲載。 2) 村ホームページに掲載。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	ふれあいサロンの実施を週1回から2回に増やし、高齢者サービスの充実を図っていく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	東村立保育所運営事業						
補助事業者名	東村長						
実施場所	東村平良地内						
補助事業の成果の目標	<p>本村保育所は、村内に居住している就学前児童に対して保育活動を実施し、子育て世代の定住を促進するため、11時間保育など保育サービスを充実させている。</p> <p>平成24年度より保護者の疾病等による緊急的な保育並びに育児に伴う保護者の心理的及び肉体的負担の軽減を図るため一時預かり保育を実施し、利用しやすい保育所の運営を行うため、調整交付金を充当し保育環境の改善を行ってきた。今後も安定的な保育運営を行うことで保育環境の維持を図る。</p> <p>(参考指標) ○保育活動日数(4月～3月) : 291日</p>						
補助事業の内容	東村立保育所保育士・調理師の person 費						
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成32年度						
事業費及び交付金額	基金 造成額		27年度	28年度			
		交付金	8,000,000	26,538,000	円	円	円
		市町村費等	3,543,000	146,000			
		その他	0	0			
		計	11,543,000	26,684,000			
	基金処分別	0	26,684,000				
	基金残額	11,543,000	11,543,000				
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【保育所の安定的な保育環境の維持についての成果及び評価】 事業期間中の保育活動日数は292日となっており参考指標を上回っている。また、一時預かり保育を利用した保護者へアンケートを行った結果、「一時預かりが子育てに役立った。」「今後も続けてほしい。」との回答が多く、保護者の心理的及び肉体的負担の軽減を図ることが出来ていることから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 1) 村広報誌2017年7月号に掲載。 2) 保育所掲示板に掲載。 3) 村ホームページに掲載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>保育定員数を70名から85名程度まで増員を検討する。 その対応として、保育施設の増設と、保育士の増員を図り、保育サービスの充実を図る。</p>						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事 業 評 価 書

補助事業名	スクールバス購入事業					
補助事業者名	東村長					
実施場所	東村平良地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村は高江小中学校、東小中学校、有銘小中学校の3校が所在しているが、平成29年4月に全ての中学校を東中学校へ統合することから、遠方より通学しなければならない生徒のための送迎車両の必要性が出てきた。このことから、本事業によりスクールバスを購入し、児童生徒が安全に通学出来る環境を整える事を目的とする。</p>					
補助事業の内容	物品購入 スクールバス 1台					
補助事業の始期及び終期	平成28年度					
事業費及び交付金額		28年度				計
	事業費	円 7,100,000		円	円	円 7,100,000
	交付金額	7,000,000				7,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【児童生徒が安全に通学できる環境についての成果及び評価】 本事業を実施したことにより、統合を行った新生中学校で通学距離のある生徒を安全に送迎することができ、また、中学校における各種活動や行事の実施においても生徒の送迎等に利用でき、学校運営に大きく寄与することができたことから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 1) 村ホームページに掲載。 2) 村広報誌2017年7月号に掲載。 3) 各車両へ「平成28年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	車両の点検に努め、今後も安全で安定的な運行を確保する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事 業 評 価 書

補助事業名	東村立学校給食センター給食配送車両購入					
補助事業者名	東村長					
実施場所	東村川田地内					
補助事業の成果の目標	<p>本村は高江小中学校、東小中学校、有銘小中学校の各校に給食室があり給食を提供していたが、平成29年度に行う中学校の統廃合に併せ、施設の一元化を図り、給食センターの建設をすすめているところである。その為、各校への配送車両が必要な事から、本事業において車両を購入し、全児童生徒への安定的な給食を提供出来る環境を整える。</p>					
補助事業の内容	物品購入 配送車両 2台					
補助事業の始期及び終期	平成28年度					
事業費及び交付金額		28年度				計
	事業費	円 2,211,036		円	円	円 2,211,036
	交付金額	2,200,000				2,200,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【安定的な給食の提供についての成果及び評価】 本事業を実施した事により、高江小学校と有銘小学校への給食配送車両の確保が出来た事で、年間給食提供日数200日を実施し、安心して安定的な給食を提供する事が出来たことから本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 1) 村ホームページに掲載。 2) 村広報誌2017年7月号に掲載。 3) 各車両へ「平成28年度沖縄防衛局調整交付金事業」と記載。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	車両の点検整備に努め、今後も安心して安定的な運行を確保する。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					